

看護部だより11月号

ことり新聞

November
2025.11.12

Vol.151

伊藤看護部長



医療のデジタル化～医療DXと生成AIのお話～

最近よく耳にする「医療DX」や「生成AI」ですが…どちらも医療をより良くするための新しい仕組みです。そして私たちの働きやすさを助けてくれる心強い味方です。「DX（デジタルトランスフォーメーション）」とはデジタルの力で仕事をよりスムーズにしていくこと。たとえば、紙の記録を電子化したり、必要な情報をすぐに共有できるようにしたり、データを活用して業務の効率化や個人の健康管理への支援をすることもDXの一つです。

一方、「生成AI」は文章や画像を自動で作り出すAIのこと。文章作成の補助や会議資料づくり、看護記録のまとめなどにも活用が広がっています。

どちらも、人の温かさをなくすものではなく、人がもっと人らしく働けるように支えてくれる存在です。これからも新しい力とうまく付き合いながら、「心の看護」を実践していきましょう！



11月 研修・行事

- 4~7日 インフルエンザワクチン接種
- 6日 法人介護職ハラスマント研修
- 7日 法人ACP研修
- 8・15・22日 福利厚生イベント
- 11日 新人看護師研修「エンゼルケア」
- 15日 法人管理職研修「ハラスマント」
- 20日 法人看護実践ふり返り研修
- 21日 法人研修「意思決定支援を支える」



- 22日 法人新任主任看護師研修
- 25日 排泄ケアスペシャリスト
フォローアップⅡ
- 25~12/11 大阪医療看護専門学校実習
受け入れ
- 27日 新人看護師研修「ケーススタディ」
- 29日 医療と介護を考える会



看護部災害対策検討会

看護次長

お疲れ様です。朝晩の冷え込みが続き、ぐっと冬の気配が近づいてきました。体調管理に気を付けながら暖かくして元気に過ごしましょう！さて、災害の話になります。

南海トラフ地震はいつ発生してもおかしくないとされ、大阪も大きな被害が想定されています。看護部としても、災害時に備えた防災・減災・縮災の視点を持ち「日頃から備える力」を大切にしていきたいと思っています。

災害対策の基本は、まずは自分の身を守ることです。これが、患者さんを守る第一歩に繋がります。当院では、院内の安全確保として突っ張り棒の設置を進め、転倒・落下リスクの軽減を図っています。また、備蓄食、BCP（事業継続計画）を整備し、災害時にも看護を継続できる体制づくりを進めています。さらに、初動対応に必要なスターターキットを準備し、災害発生時に慌てず行動できるよう、看護部全体で訓練も予定しています。

「明日地震が起きても動ける看護部へ」。日頃の意識と小さな備えが、患者さん、そして自分たちの安全につながります。皆で“備える力”を高めていきましょう。



補助職のやりがいを見つける

補助者検討会 西2階看護師長

「看護補助者の仕事のやりがい」についての研修を実施しました。

看護補助者としての役割の意義を再確認し、日々の業務の中にある「やりがい」を見つけることで、仕事への誇りとモチベーションを高めることを目的としました。グループワークも行い、参加者からは「普段当たり前だと思っていたことが、ちゃんと意味あることだったと改めて気づいた」といった声が寄せられました。

アンケート結果からも、自分の役割や貢献に対する再認識が見られ、「看護補助者も現場で役に立っている」といった前向きな意見が多く、仕事への誇りや意欲の向上に繋がったと感じます。こうした気づきを促す「意味づけ」の機会を今後も継続して設けることが重要だと実感しました。日々の業務の中で埋もれがちな価値を言語化し看護補助者が、楽しく自信を持って働ける環境づくりを今後も目指していきたいと思います。

11/21(金)が今年度最後の研修となります。参加がまだの方はお待ちしてます！



9月 新規褥瘡発生 9人